

日刊 不動産経済通信

2019年（平成31年）3月22日

◎REB1000、金融行政関連で講演

REB1000社の会（理事長 清水修司・SD建築企画研究所社長）は、東京・渋谷区のSYDホールで「第55回REB1000社の会セミナー&情報交流会」をこのほど開催し、約250名が参加した。

元金融庁長官の五味廣文氏（現ボストンコンサルティンググループシニアアドバイザー）が「平成の金融行政を振り返る」と題し基調講演。①金融監督庁発足以前の出来事（85―97年）②金融監督庁発足時の行政課題と行政（98―05年）③金融行政を巡る環境変化（05年―）④金融行政の転換「顧客との共通価値の創造」―と、各年代に分けて説明。地方銀行の未来については、「人口減、企業減のなか、これまでのビジネスモデルでは難しい」とし、統合再編やファンドなどへのエクイティ出資、デジタル対応などが今後の道を開く鍵とした。